

一般座標系

一般化座標または正準座標ともいう。流れの数値解析などの解析力学において、特定の条件に準ずる物体の運動についてその位置を表すのになるべく少ない変数を用いる、または簡単で直感的に扱うことが出来るよう、角度や既知の任意の曲線上の距離で表される変数を用いて表される座標系をいう。対照的な座標系にデカルト座標がある。デカルト座標は、一般的に斜交座標をいうが、特にその中でも直交座標をいうことが多い。

土研 河川生態チーム 傳田 正利

ベクタ化

地物を不連続な幾何学的図形（フィーチャクラス）として表現する手法である。フィーチャクラスの代表的な表現として、ポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）がある。

対照的な地物の表現に、ラスタ化がある。ラスタ化は、対象地域を正方形（または長方形）のセルに分割し、これらをグリッド状に配列することより地物を表現する。

土研 河川生態チーム 傳田 正利

土砂災害警戒情報

平成19年度末までに、全国で土砂災害警戒情報の運用が開始されました。

土砂災害警戒情報は、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、大雨により「土石流」及び「集中して発生するがけ崩れ」による土砂災害発生危険度が高まったとき、都道府県と気象庁が共同で発表している防災情報です。

土砂災害の危険度は2～3時間先の予測雨量等により判定され、警戒対象の市町村名、警戒文及び警戒対象地域や強雨域を示した図が土砂災害警戒情報で発表されます。図-1は、土砂災害警戒情報の発表例です。

そして、図-2の経路にしたがって、市町村や住民に知らされます。

市町村の防災担当者には複数の経路から、確実に伝達されるようになり、住民には、テレビ・ラジオ等から放送される身近な情報です。

国総研 砂防研究室 小嶋 伸一

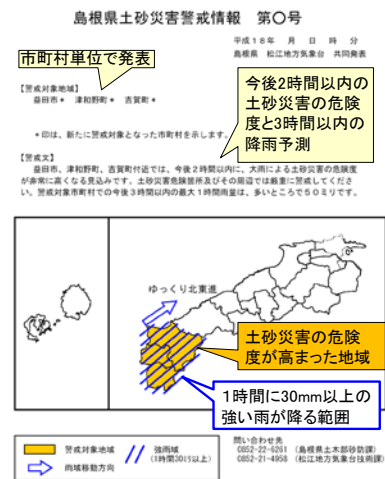


図-1 土砂災害警戒情報発表例

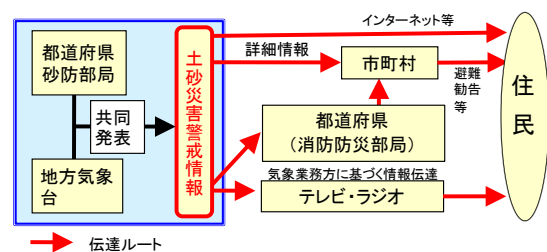


図-2 土砂災害警戒情報の伝達経路